重要情報シート（個別商品編）　　使用開始日：2026年07月14日

ＮＥＸＴ　ＦＵＮＤＳ日本株政策フォーカス上場投信（605A）

1　商品等の内容　（当社は、お客さまに上場有価証券の売買の取次ぎを行っています）

金融商品の名称・種類	ＮＥＸＴ　ＦＵＮＤＳ日本株政策フォーカス上場投信（605A）
組成会社（運用会社）	野村アセットマネジメント株式会社
金融商品の目的・機能	わが国の株式を主要投資対象とし、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。 流動性の高い銘柄の中から、政府方針に則ったテーマを選定し、銘柄選択を行ないます。テーマは適宜見直しを行ない、それに伴い組入銘柄の変更を行ないます。
顧客利益最優先の運用会社のガバナンスの確保、プロダクトガバナンスの確保	【経営・運用体制】運用会社では、お客さまの利益より運用会社や同社のグループ会社の利益を優先した業務運営が行われることがないようにするため、利益相反管理方針において、運用・調査の独立性を確保する体制を定めています。当ファンドの運用は「クオンツ運用戦略」の担当チームが行ないます。その中で、統括責任者（類似の投資信託の運用経験19年以上）が運用プロセス（投資方針）全般を所管し、運用責任者（類似の投資信託の運用経験18年以上）がポートフォリオ構築の最終的な意思決定を行ないます。 【検証体制】運用部門から独立した内部監査関連部署やコンプライアンス関連部署において、ファンドが信託約款や運用方針等に則り適切に運用されているかどうか、お客さまの利益を害するような取引等が行われていないかについてモニタリングを実施しています。運用成果の達成状況については、運用プロダクトの分析・評価等に関する委員会にて検証され、必要に応じて検証結果は経営会議にフィードバックされます。
商品組成に携わる事業者が想定する購入層	この商品は、中長期的な資産の成長を積極的に目指したい方で、同種の商品に対する知識や投資経験があり、もしくは説明を受け商品性および以下の事項をご理解いただける投資家を主に念頭において組成しています。 ○アクティブ運用型ＥＴＦが、従来のＥＴＦとは異なり、連動対象となる指標が存在しない商品であること ○ファンドにおける積極運用の結果、基準価額がベンチマークや相場全体の変動からでは説明できない動きをする場合があること ○管理会社等により日々開示されるポートフォリオ情報は、前日の基準価額算出の基礎となった情報でしかなく、当該情報から算出される一口当たり推定純資産額（インディカティブＮＡＶ）については、ＥＴＦの適正価格に常に一致するというわけではないこと
パッケージ化の有無	パッケージ化商品ではございません。
クーリング・オフの有無	クーリング・オフ（契約日から一定期間、解除できる仕組み）の適用はありません。

※ 上記内容の詳細は、組成会社が作成する「内国アクティブ運用型ETFの商品特性及び管理会社の運用体制等に関する報告書」が参考となります。

以下のような質問があれば、お問い合わせください。
・あなたの会社が提供する商品のうち、この商品が、私の知識、経験、財産状況、ライフプラン、投資目的に照らして、ふさわしいという根拠は何か。
・この商品を購入した場合、どのようなフォローアップを受けることができるのか。
・この商品が複数の商品を組み合わせたものである場合、個々の商品購入と比べて、どのようなメリット・デメリットがあるのか。

2　リスクと運用実績（本商品は、円建ての元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります）

損失が生じるリスクの内容	○ファンドは株式に投資を行ないますので、株価変動の影響を受けます。また、ファンドは、特定のテーマに絞った株式に投資を行ないますので、株式市場全体の動きとファンドの基準価額の動きが大きく異なる場合があります。より幅広いテーマで株式に分散投資した場合と比べて基準価額が大きく変動する場合があります。 ○ファンドの市場価格は、取引所における競争売買を通じ、需給を反映して決まります。したがって、市場価格は基準価額とは必ずしも一致するものではありません。
〔参考〕　過去1年間の収益率　市場価格ベース	表示に必要とする年間収益率データがありません。（2026年7月13日運用開始）
〔参考〕　過去5年間の収益率　市場価格ベース	表示に必要とする年間収益率データがありません。（2026年7月13日運用開始）

※ 投資リスクの内容の詳細は、目論見書のほか、組成会社が作成する「内国アクティブ運用型ETFの商品特性及び管理会社の運用体制等に関する報告書」に記載しています。

以下のような質問があれば、お問い合わせください。
・上記のリスクについて、私が理解できるように説明してほしい。
・相対的にリスクが低い類似商品はあるのか。あればその商品について説明してほしい。

3 費用（本商品の購入又は保有には、費用が発生します）

購入時に支払う費用 （販売手数料など）	国内株式等の売買に係る委託手数料がかかります。
継続的に支払う費用 （信託報酬など）	信託財産の純資産総額に対して年率0.5225%（税抜0.475%）以内 その他の費用・手数料等がファンドから支払われますが、事前に料率・上限等を表示できません。 （本資料作成時点）
運用成果に応じた費用 （成功報酬など）	ありません。（本資料作成時点）

※ 購入時に支払う費用は、上場有価証券等書面に記載しています。

以下のような質問があれば、お問い合わせください。
・私がこの商品に〇〇万円を投資したら、それぞれのコストが実際にいくらかかるのか説明してほしい。
・費用がより安い類似商品はあるか。あればその商品について説明してほしい。

4 換金・解約の条件（本商品を換金・解約する場合、一定の不利益を被ることがあります）

● この商品の償還期限はありません。但し、繰上償還等により上場廃止される場合があります。

● この商品を売却する場合には、国内株式等の売買に係る委託手数料がかかります。

※ 本商品を換金する場合、一般的には、金融商品取引業者等を通じて、取引所市場で売却することになります。
※ 売却時に支払う費用は、上場有価証券等書面に記載しています。

以下のような質問があれば、お問い合わせください。
・私がこの商品を換金・解約するとき、具体的にどのような制限や不利益があるのかについて説明してほしい。

5 当社の利益とお客様の利益が反する可能性

● 当社は、この商品の組成会社等との間で資本関係等の特別の関係はありません。

● 当社の営業職員に対する業績評価上、この商品の販売が他の商品の販売より高く評価されることはございません。

※ 利益相反の内容とその対処方針については、当社ホームページの「利益相反管理方針」をご参照ください。

https://www.okigin-sec.co.jp/financial/interest/

以下のような質問があれば、お問い合わせください。
・あなたの会社が得る手数料が高い商品など、私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先した商品を私に薦めていないか。私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先する可能性がある場合、あなたの会社では、どのような対策をとっているのか。

6 租税の概要（ＮＩＳＡ成長投資枠、ＮＩＳＡつみたて投資枠の対象か否かもご確認ください）

● NISA成長投資枠の対象商品です。

● 料金は表に記載の時期に適用されます。以下の表は、個人投資家の源泉徴収時の税率であり、課税方法によりことなる場合があります。

時　期	項　目	税　金
分配時	所得税、復興特別所得税 及び地方税	配当所得として課税 収益分配金に対して、20.315%
売却時 及び償還時	所得税、復興特別所得税 及び地方税	譲渡所得として課税 売却時及び償還時の差益（譲渡益）に対して、20.315%

7 その他参考情報（契約にあたっては、次の書面をよくご覧ください）

販売会社が作成した上場有価証券等書面	https://www.okigin-sec.co.jp/risk/documents/
組成会社が作成した本商品にかかるウェブページ	https://nextfunds.jp/lineup/605A/

※ 組成会社が作成した「内国アクティブ運用型ETFの商品特性及び管理会社の運用体制等に関する報告書」は東証上場会社情報サービス https://www.jpx.co.jp/listing/co-search/index.html （証券コードで検索）→「基本情報」→「縦覧書類/PR情報」→「その他」欄で閲覧できます。

※ 各質問事例に関する回答は、別紙にまとめております。こちらよりご確認下さい。
https://www.wam.abic.co.jp/ap02rs/contents/pdf/E23a218/doc/E23a218_qa.pdf